
はちみつ入りのミルクティー

ミルクココア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はちみつ入りのミルクティー

【NZコード】

N8187M

【作者名】

ミルクココア

【あらすじ】

空に浮かぶ雲がミルクティー色に見えた少女、未来のお話。

ミルクティー色の空は、とてもおいしそう。陽の光を浴びてキラキラ光る雲は、はちみつをかけたお砂糖みたい。

渡り廊下を歩きながら、未来は考えていた。

「あの雲は、はちみつ入りのミルクティーの味がするんだろうな」

「もう、未来、また変なこと言つてる」

未来のクラスメイト、由希は、未来がおかしなことばかり言つて、頬を膨らませる。

「雲は雨を降らせるんだから、水でできるのー。そんな味しないよ」

「そんなことないもん。甘いマシュマロを溶かしたみたいな色をしているの、由希ちゃんも見えるでしょ？」

由希は、空を見上げる。

のどかな廊下通りの空には、澄んだ青と、太陽の光を反射する金色の雲があった。

おこしそうではないけれど、とても綺麗だ。

「……いい色は、してるけど」

由希は小さな声で呟くと、教科書を胸に抱えて、走り去ってしまった。

未来は、彼女が去った後も、手すりに寄りかかりながら、幸せそうに空を眺めていた。

はちみつみたいな空を見ていた未来は、不意に空から、ビンを抱えた小さな妖精が、羽をパタパタさせながら降りてくるのを見つけた。

ビンの中には、ミルクティーがたっぷり入っている。

妖精は、未来にビンを差し出した。

「これ、あげるわ」

「いいの？」

未来は、初めて出会う妖精にびっくりしながらも、白い湯気をあげるミルクティーに釘付けになつた。

それは、空と似た色をしている。

「わあー、いただきますっ」

未来は妖精からビンを受け取ると、ミルクティーを飲んだ。はちみつみたいに甘くて、心の中までぽかぽかするような味がした。

「おいしかった！ ありがと、妖精さん」

「どういたしまして」

空になつたビンを持つて、妖精が空へ戻ろうとするとき、未来は慌てて引き止めた。

「ねえ、どうして、私にてくれたの？」

妖精は、くるりと振り向いて、未来の傍まで寄ってきた。

「はちみつ入りのミルクティーが飲みたそだつたからよ」自分の体より少し小さいくらいの、妖精にとつてはとても大きな空ビンを胸の前で抱えながら、妖精はにっこり笑う。

「あなたが喜んでくれたら、私も嬉しいわ」

「はちみつ入りのミルクティー、妖精さんが雲で作ったの？」

未来の問いかけに、妖精は頷く。

「ええ、私が作ったの。こんな天気の日には、とてもおいしくできるわ」

「そつかあ。ありがとう、妖精さん！」

キラキラした瞳でお礼を言う未来に、妖精は、とびっきりの笑顔を見せると、くるくると回つて飛びながら、上空へと戻つてしまつた。

未来は、予鈴が鳴るのも構わずに、妖精の姿が見えなくなるまで

見送った。

教室に戻った未来は、隣の席にいる由希に小突かれる。

「未来、ギリギリだよ。まだ空を見てたの？」

「うんっ。すごくおいしかった！」

未来は、大好きなものを食べた後みたいな、幸せな顔をしている。

「……え？」

何のことを言っているのか聞き出す前に、先生が教室へ入ってきた。授業が始まった。

穏やかな午後の空は、おいしそうな、はちみつ入りのミルクティー色を雲を浮かべていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8187m/>

はちみつ入りのミルクティー

2010年10月13日23時01分発行